

春ノ十一表

夢〈ゆめ〉のうちも夢〈ゆめ〉と覚えてやかてそこに

てもとどりをきらんと思へとも今一度君

にまいりていとま申さんと思ひとりて

駒〈こま〉をはやむるに袖〈そで〉のなみだはさきに

たちけり抑〈そもく〉此人は二年の兄〈あに〉にて生へしやう

年〈ねん〉廿七ぞかしをくれさきだつためし

あはれにおほえてかくぞみちくくな

がめける

朝有紅顔誇世路暮成白骨朽郊原

〈あしたにはこうがんあつてせいろにはこるといへともゆふへにははつこつとなつてこうけんにくちぬ〉